

## V 日高振興局

### 1. 重点プロジェクト【梅産地の競争力強化と労働力確保対策】

#### ～ウメ「南高」の低樹高化技術による省力化現地研修～

農業水産振興課では、うめ研究所、J A紀州等と連携し、ウメ「南高」の低樹高化技術（カットバック処理）による青梅生産性の向上に取り組んでいる。

カットバック処理は、樹高や着果位置が低下し青梅収穫等の作業が容易となるが、結果枝が減少し翌年の収量が低下する問題がある。

そこで、事前（春～初夏）に新梢の摘心処理（2回）を行い、徒長枝となる枝を結果枝化した上で、秋冬期にカットバック処理を実施することにより、収量の確保を図るとともに、冬季のせん定作業の省力化を図っている。

摘心処理（1回目）の現地研修会を、みなべ町西本庄地区（参加者7名）は4月15日に、日高川町松瀬地区（参加者10名）は4月19日に開催し、生産者へ処理方法の説明と充電式電動バリカンによる摘心処理体験を実施した。

参加者からは、「充電式電動バリカンを使うと作業時間が早い」、「自園でも試してみたい」といった意見が出た。

今後は、5月中下旬に摘心処理（2回目）、11月下旬頃にカットバック処理の研修会を開催する予定である。



摘心処理の体験（みなべ町西本庄）



摘心処理の説明（日高川町松瀬）

### 2. 令和3年度「農トレ！ひだか」～第1回セミナー開催～

4月20日、日高地方4Hクラブ連絡協議会（会長：有本雄紀氏）と農業水産振興課の共催により、若手農業者や新規就農者等を対象とした研修会「農トレ！ひだか」の第1回セミナーを印南町公民館大ホールで開催した。日高地方4Hクラブ員16名が参加した。

今回は、農業経営における人材確保や効率的な技術指導の方法等を学ぶことを目的とし、（公財）わかやま産業振興財団「和歌山県よろず支援拠点」コーディネーターの野際義久氏

及びコーディネーター（社会保険労務士）の二之段直哉氏による講演を実施した。

まず、野際氏から、「事業計画の必要性について」と題して、販売・生産計画に基づいた人員計画（採用・教育・評価）を行うことの重要性とその考え方について講義があった。

続いて、二之段氏から、「<人材不足対応>ミスマッチのない求人募集！」と題して、より具体的に、求人募集の準備、採用の際に必要な法律知識、人材のミスマッチを防止するための募集方法、採用後に人材を無駄にしないための教育方法等について講義があった。

参加者は熱心に聴講し、講演後には「自身の農業経営に役立てたい」、「今回の内容を農業に当てはめたより具体的な講義を聞いてみたい」等の感想があった。

今後は8月頃に第2回目、11～2月頃に第3回目の研修会の開催を予定している。



野際 義久氏による講演



二之段 直哉氏による講演